



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月10日

上場会社名 株式会社乃村工藝社 上場取引所 東
 コード番号 9716 URL <http://www.nomurakougei.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 吉本 清志 (TEL) 03(5962)1119
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	71,347	6.5	3,326	185.5	3,367	165.5	1,811	239.7
25年2月期第3四半期	66,987	14.8	1,165	—	1,268	—	533	—

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 2,184百万円 (282.2%) 25年2月期第3四半期 571百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	32.46	—
25年2月期第3四半期	9.55	—

四半期連結経営成績に関する注記

当社は、平成25年2月期より決算期を2月15日から2月末日に変更しております。これにともない、平成26年2月期第3四半期（3月1日から11月30日）の対前年同四半期増減率は、平成25年2月期第3四半期（2月16日から11月15日）と比較し記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第3四半期	54,133	27,493	50.8	494.20
25年2月期	58,340	26,044	44.6	466.45

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 27,493百万円 25年2月期 26,044百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期（予想）	—	—	—	14.00	14.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有
 2 平成25年2月期期末配当金の内訳 普通配当8円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	△1.3	4,200	89.9	4,200	76.2	2,200	77.1	39.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更をおこなっており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年2月期3Q	59,948,294株	25年2月期	59,948,294株
26年2月期3Q	4,315,682株	25年2月期	4,113,272株
26年2月期3Q	55,813,821株	25年2月期3Q	55,837,420株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注および売上高の状況	11
(2) セグメント別（ディスプレイ事業は制作品別）の生産高、受注および売上高の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	66,987	71,347	4,360	6.5
営業利益	1,165	3,326	2,161	185.5
経常利益	1,268	3,367	2,099	165.5
四半期純利益	533	1,811	1,278	239.7

当第3四半期連結累計期間（平成25年3月1日～平成25年11月30日）のわが国経済は、政府による経済・金融政策に対する期待感から緩やかな回復基調となりましたが、海外では引き続き不安定な経済情勢が内在しており、依然として先行きの不透明感は拭えない状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、市場の変化への対応力を強化するなど、経営目標である「選ばれるノムラ」の実現に向け事業活動を展開した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は713億47百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

また、利益面におきましては、売上高の増加に加え、採算を重視した受注の徹底や原価低減への取り組みなどが寄与し、営業利益は33億26百万円（前年同期比185.5%増）、経常利益は33億67百万円（前年同期比165.5%増）、四半期純利益は18億11百万円（前年同期比239.7%増）と、いずれも前年同期を大きく上回る実績で推移しております。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

①ディスプレイ事業

文化施設等を手掛ける博物館・美術館市場の売上が減少いたしました。景況感に回復の兆しが見られるなか、アパレル関連店舗など専門店の出店や改装が相次ぎ、専門店市場が堅調に推移いたしました。

また、電気メーカーや住宅関連企業によるショールームの新装・改装のほか、ホテルやアミューズメント施設のリニューアルを多数手がけ、広報・販売促進市場、余暇施設市場の売上が大幅に増加いたしました。

この結果、ディスプレイ事業の売上高は694億44百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益30億39百万円（前年同期比215.9%増）となりました。

(単位：百万円)

概 要		売 上 高		増減額	増減率 (%)
市場分野名	当期主要プロジェクト	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間		
専門店市場 (物販店、飲食店、サービス業態店等)	インポートブランドやファストファッションなどのアパレル関連店舗や飲食・金融店舗の内装制作等	29,141	31,137	1,996	6.9
百貨店・量販店市場	近畿圏や首都圏における百貨店のリニューアル等	4,177	4,832	655	15.7
複合商業施設市場 (ショッピングセンター等)	大型商業施設の新装や改装、空港内の商業施設における空間演出等	5,355	5,222	△132	△2.5
広報・販売促進市場 (企業PR施設、ショールーム、セールスプロモーション、CI等)	大手電機メーカーや住宅関連企業のショールーム、各種展示会等	10,695	12,222	1,527	14.3
博物館・美術館市場 (博物館、文化施設、美術館等)	大型文化施設の展示制作、指定管理者制度 ^(注) にもとづく施設の管理・運営等	5,613	4,866	△747	△13.3
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル・リゾート施設、アミューズメント施設、エンターテイメント施設、動物園、水族館等)	ホテルやアミューズメント施設のリニューアル、温浴施設の新装等	4,018	5,318	1,299	32.3
博覧会・イベント市場 (博覧会、見本市、文化イベント等)	行政が主催する文化イベント等	477	412	△64	△13.6
その他市場 (上記以外の市場に係るもの) (オフィス、ブライダル施設、サイン、モニュメント等)	医療施設やブライダル施設の新装、「奇跡の一本松」の再生等	5,840	5,431	△409	△7.0
ディスプレイ事業		65,319	69,444	4,124	6.3

(注) 指定管理者制度：地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度。平成15年9月より施行されている。

②不動産事業

所有する不動産における賃料収入などにより、売上高は3億68百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は1億20百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

③飲食・物販事業

「福井県立恐竜博物館」（福井県勝山市）などのミュージアムショップや、「Zakka & Cafe TRANSFER」（東京都港区）などの飲食店舗の運営などを手掛け、売上高は15億35百万円（前年同期比16.4%増）、営業利益は2億33百万円（前年同期比38.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は541億33百万円（前連結会計年度末比42億6百万円減）、負債は266億40百万円（前連結会計年度末比56億55百万円減）、純資産は274億93百万円（前連結会計年度末比14億49百万円増）となりました。

総資産は、たな卸資産が増加しましたが、仕入債務の支払いにより現金及び預金、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が、それぞれ減少しております。

負債は、期末月の仕入高の減少により支払手形及び買掛金が減少しております。

純資産については、配当金の支払いと自己株式の取得がありました。また、四半期純利益の計上とともに、その他有価証券評価差額金、土地再評価差額金等が増加しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の44.6%から50.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向等を踏まえ、平成25年10月10日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。

平成26年2月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	100,000	3,900	3,900	2,000	35.82
今回修正予想（B）	100,000	4,200	4,200	2,200	39.42
増減額（B－A）	—	300	300	200	—
増減率（%）	—	7.7	7.7	10.0	—
（ご参考）前期実績 （平成25年2月期）	101,316	2,212	2,383	1,242	22.25

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,040	7,425
受取手形及び売掛金	14,354	12,728
有価証券	41	—
たな卸資産	8,098	9,403
繰延税金資産	1,087	1,155
その他	648	1,487
貸倒引当金	△44	△40
流動資産合計	35,224	32,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,548	12,163
土地	10,056	9,757
その他	1,818	1,738
減価償却累計額	△6,707	△6,783
有形固定資産合計	17,716	16,875
無形固定資産	614	738
投資その他の資産		
投資有価証券	2,597	2,995
その他	2,510	1,734
貸倒引当金	△322	△372
投資その他の資産合計	4,784	4,357
固定資産合計	23,115	21,972
資産合計	58,340	54,133

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,482	13,082
未払法人税等	993	735
前受金	3,591	3,483
賞与引当金	1,320	1,160
工事損失引当金	488	18
環境対策引当金	100	—
その他の引当金	105	110
その他	2,384	2,251
流動負債合計	26,468	20,841
固定負債		
退職給付引当金	3,931	3,858
その他の引当金	313	80
その他	1,582	1,859
固定負債合計	5,827	5,798
負債合計	32,296	26,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	6,861	6,861
利益剰余金	13,236	14,293
自己株式	△914	△1,091
株主資本合計	25,680	26,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55	355
土地再評価差額金	286	482
為替換算調整勘定	22	95
その他の包括利益累計額合計	363	932
純資産合計	26,044	27,493
負債純資産合計	58,340	54,133

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
売上高	66,987	71,347
売上原価	57,958	59,770
売上総利益	9,029	11,577
販売費及び一般管理費	7,864	8,251
営業利益	1,165	3,326
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	12	18
仕入割引	57	56
その他	41	52
営業外収益合計	118	135
営業外費用		
支払利息	9	0
投資不動産管理費用	5	1
関係会社貸倒引当金繰入額	—	90
その他	0	2
営業外費用合計	15	94
経常利益	1,268	3,367
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	183
特別利益合計	0	183
特別損失		
固定資産除売却損	16	22
減損損失	65	503
投資有価証券評価損	62	17
ゴルフ会員権評価損	11	—
店舗閉鎖損失	—	22
特別損失合計	154	565
税金等調整前四半期純利益	1,113	2,985
法人税等	580	1,173
四半期純利益	533	1,811

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
四半期純利益	533	1,811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	299
為替換算調整勘定	△4	73
その他の包括利益合計	38	372
四半期包括利益	571	2,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	571	2,184

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月16日 至 平成24年11月15日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
	ディスプレイ 事業	不動産 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	65,319	349	1,318	66,987	—	66,987
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	6	18	50	△50	—
計	65,345	355	1,336	67,038	△50	66,987
セグメント利益	962	108	168	1,239	△73	1,165

(注) 1. セグメント利益の調整額△73百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ディスプレイ事業」セグメントにおいて、当社の連結子会社が保有する土地について売却を予定していることから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（65百万円）として特別損失に計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上額 (注2)
	ディスプレイ 事業	不動産 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	69,444	368	1,535	71,347	—	71,347
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	11	23	39	△39	—
計	69,448	380	1,558	71,387	△39	71,347
セグメント利益	3,039	120	233	3,393	△67	3,326

(注) 1. セグメント利益の調整額△67百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ディスプレイ事業」セグメントにおいて、当社の連結子会社が保有する土地について売却を予定していたこと等により、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（50百万円）として特別損失に計上しております。

「不動産事業」セグメントにおいて、当社の連結子会社が保有する土地・建物について収益性の低下による減損の兆候が認められたため、その認識・測定をおこなった結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（452百万円）として特別損失に計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注および売上高の状況

① 生産高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	30,780	32,315
百貨店・量販店市場	5,494	4,966
複合商業施設市場	5,497	4,825
広報・販売促進市場	11,978	12,592
博物館・美術館市場	4,922	4,847
余暇施設市場	4,134	5,317
博覧会・イベント市場	429	382
その他市場	5,994	6,343
ディスプレイ事業 小計	69,232	71,591
(不動産事業)	—	—
(飲食・物販事業)	—	—
合計	69,232	71,591

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 生産高の金額は販売価格によっております。

3 不動産事業と飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

② 期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年11月15日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
専門店市場	30,396	8,933	30,574	7,712
百貨店・量販店市場	5,712	2,274	4,814	959
複合商業施設市場	5,800	3,881	3,526	2,699
広報・販売促進市場	12,096	4,941	13,436	6,198
博物館・美術館市場	5,379	3,420	8,071	5,751
余暇施設市場	6,497	4,469	4,701	4,050
博覧会・イベント市場	610	507	215	153
その他市場	6,045	5,035	6,696	4,514
ディスプレイ事業 小計	72,539	33,464	72,036	32,040
(不動産事業)	—	—	—	—
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	72,539	33,464	72,036	32,040

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③ 売上高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	29,141	31,137
百貨店・量販店市場	4,177	4,832
複合商業施設市場	5,355	5,222
広報・販売促進市場	10,695	12,222
博物館・美術館市場	5,613	4,866
余暇施設市場	4,018	5,318
博覧会・イベント市場	477	412
その他市場	5,840	5,431
ディスプレイ事業 小計	65,319	69,444
(不動産事業)	349	368
(飲食・物販事業)	1,318	1,535
合計	66,987	71,347

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。

(2) セグメント別（ディスプレイ事業は制作品別）の生産高、受注および売上高の状況

① 生産高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	24,902	27,479
展示制作	16,255	14,749
環境演出制作	3,588	2,450
販促品制作	1,731	1,400
企画・設計・監理	6,779	6,383
その他	15,974	19,127
ディスプレイ事業 小計	69,232	71,591
(不動産事業)	—	—
(飲食・物販事業)	—	—
合計	69,232	71,591

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 生産高の金額は販売価格によっております。
3 不動産事業と飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載していません。

② 期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年11月15日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
内装制作	27,896	12,942	24,841	11,522
展示制作	15,682	7,432	16,636	8,330
環境演出制作	2,637	1,698	3,196	2,028
販促品制作	1,828	177	1,503	191
企画・設計・監理	7,911	6,517	7,504	5,992
その他	16,582	4,696	18,353	3,975
ディスプレイ事業 小計	72,539	33,464	72,036	32,040
(不動産事業)	—	—	—	—
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	72,539	33,464	72,036	32,040

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③ 売上高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	23,248	27,551
展示制作	14,337	13,641
環境演出制作	3,624	2,184
販促品制作	1,709	1,328
企画・設計・監理	5,920	6,255
その他	16,479	18,482
ディスプレイ事業 小計	65,319	69,444
(不動産事業)	349	368
(飲食・物販事業)	1,318	1,535
合計	66,987	71,347

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。